



PHYTOCHROME

環境ストレスに強い!

Impact

低温・凍霜害対策に

コールド インパクト

Cold Impact

シン・アクト処方降臨

1 保護

2 抵抗

3 強化

※シナジスティック アクション処方



低温・凍霜害対策に



❄️ 凍霜害・低温障害って？

遅霜による凍霜害

近年の温暖化により果樹の花芽の形成が早まり、その結果春先の遅霜による花芽の障害が益々問題になっています。



急激な温度低下による低温障害

作物には生育に適した温度範囲があり、それを大きく下回することで低温障害が発生します。



障害の例

水稻

育苗初期（葉齢1〜2葉期）
低温下の黄化

果樹

4月上旬〜5月上旬
遅霜による花芽の障害

葉物野菜

4月上旬〜5月上旬
低温によるアントシアニン着色

麦

起生期
幼穂の凍死、奇形

❄️ シン・アクト処方※の秘密 ※シナジスティック アクション処方

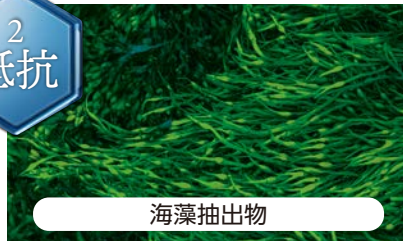
1 保護



グリシンベタイン+トレハロース

細胞の中を凍りにくくしたり、凍った場合でも細胞を傷つけることはありません。

2 抵抗



海藻抽出物

海藻由来の成分が環境ストレスに対する抵抗力を高めます。

3 強化



キレートカルシウム

植物の細胞膜や細胞壁を強化し、傷つきにくい植物体をつくります。

❄️ 低温障害対策試験事例

低温による花の被害率は、**コールドインパクト散布により平均10%程度減少**

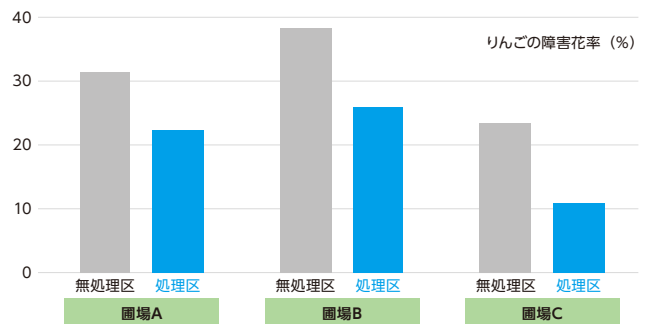
作物 りんご / 長野県飯田市 / コールドインパクト500mL/10a 葉面散布 / 4月10日頃から10日間おきに散布



正常な花



損傷を受けた花



❄️ コールドインパクト 製品概要



成分 (有効成分) ベタイン、トレハロース、海藻抽出物、キレートカルシウム

こんな時に 低温障害、凍霜害対策に

おすすめ作物

- ・果樹 (りんご・おうとう・かき・なし・もも等)
- ・葉茎菜類 (キャベツ・レタス・はくさい・ブロッコリー等)

※果樹の遅霜対策には、できるだけ予報の直前 (3日以内) の処理をおすすめします。(凍結前の予防散布が基本)

使用方法: 葉面散布

畑作・野菜 200 ~ 333 mL / 10a

果樹 200 ~ 500 mL / 10a

